

栃木県総合教育センターだより

# 学びの杜通信

第81号 令和4(2022)年7月15日発行



## 第13期とちぎの教育未来塾受講生募集開始

昨年度(第12期)は、若手教員と学生を合わせて、134名が受講されました。現職と学生が、教育についての思いや考えを熱心に語り合い、充実した時間を過ごしました。皆さんも、子どもたちの未来、そして御自身の未来について夢を膨らませてみませんか。



### <研修日及び講座内容>

第1日	10/15 (土)	9:35~9:50 開講式	10:05~10:55 教師像に関すること 「教師を語ろう」	11:10~12:30 選択講座A (※1)
第2日	10/29 (土)	9:35~10:55 児童・生徒指導に関すること(小・中) 生徒指導に関すること(高・特) ※同時双方向型オンライン開催		11:10~12:30 学級経営に関すること(小・中) ホームルーム経営に関すること(高・特) ※同時双方向型オンライン開催
第3日	12/3 (土)	9:35~12:30 学習指導・教科指導・授業づくり(校種、教科を選択)		
第4日	1/14 (土)	9:35~10:55 選択講座B (※2)	11:10~12:00 教師像に関すること 「教師を描こう」	12:05~12:30 閉講式

※1 道徳教育に関すること、特別支援教育に関すること、プログラミング教育に関すること

※2 幼少期の学びに関すること、教育相談に関すること、学校・地域・家庭(保護者)に関すること

### <第12期 受講生の声>

◆今回から、教員としての参加になりました。学生の皆さんの言葉が心に響き、自分の教師像をもう一度見直す機会を得ることができました。「教育は目の前の子どもから始まる」を忘れずに、しっかり観察し、判断し、子どもたち一人一人を輝かせられる教師であり続けたいと思います。【現職】

◆自分と同じように教員を目指す学生や実際に現場で働く先生方、そして教育センターの方など普段関わることのない人と教育について語り合い、とても貴重な経験ができました。共に語り合い、学び合い、高め合うことで、答えのない課題にも挑戦でき、充実した5日間となりました。【学生】



**\* 申込み期間：令和4(2022)年7月1日(金)～9月2日(金)**

申込み方法等は、以下のWebサイトから御確認いただけます。

[http://www.tochigi-edu.ed.jp/icnt/kenshu-c-r04/?page\\_id=128](http://www.tochigi-edu.ed.jp/icnt/kenshu-c-r04/?page_id=128)

【問合せ先】研修部 (TEL 028-665-7202)



# 第23回栃木県教育研究発表大会の御案内

栃木県教育研究発表大会は、「県内各教育機関における幼児教育、学校教育及び生涯学習に関する研究の成果を広く公開し、その理解と普及を図り、本県教育の充実・向上と生涯学習の振興に資する」という趣旨に基づき、令和5（2023）年1月27日（金）・28日（土）に開催します。

今年度も、学校現場のニーズや今日的課題等を踏まえ、各部会が充実した内容となるよう検討を進めております。また、総合教育センター設立30周年の節目として、国立教育政策研究所長の浅田和伸氏による記念講演も予定しております。なお、コロナ禍の状況や県内外の皆様の参加促進等を考慮し、今年度もオンラインで開催します。詳しくは、11月に配布する「大会案内」に掲載しますので御覧ください。たくさんの御参加をお待ちしています。

## 昨年度の開催部会の様子から



オンラインで実施した大会の様子

【問合せ先】研究調査部（Tel 028-665-7204）

## 参加者の声（アンケートより一部抜粋）



これまでは、子育てや部活動指導などの理由で、移動時間を考えると、遠方からの申込みにためらいがあったかと思います。オンラインが浸透した現在は、幅広く、教育関係の皆さんや学生さんへ学びが広がるのではないかと感じています。



すばらしい取組の様子から多くの気づきや学びが得られ、大変感謝しています。特に真岡の若者のエネルギー溢る社会実験は、聞けば聞くほどワクワクがとまりませんでした。



教職員をつなぎ、組織的な取組を促すための具体的な実践をお聞きし、大変勉強になりました。また、対話の重要性を実感しました。青柳教授（宇大）のお話も意識して実践していきたいと思います。

# 教育相談特別講座の参加者を募集しています

## ♣ 令和4（2022）年度教育相談特別講座 ♣

令和4年8月8日（月）9:30～16:00（受付9:15～9:30）オンライン（Zoom）による開催

### テーマ「いま必要な、子どもとのかかわりについて考える」

○基調講演「教師に求められる力とは」

文教大学 教育学部 教授 会沢 信彦 氏

○パネルディスカッション「教師と子どもとのかかわりの実際」

討 論 者：宇都宮市立石井小学校 教 諭 齊藤 友啓 氏

鹿沼市立栗野中学校 教 諭 和賀井裕子 氏

県立那須高等学校 養護教諭 加藤 明美 氏

指導助言者：文教大学 教育学部 教授 会沢 信彦 氏

日々の授業を教育相談的視点から捉え直し、いま子ども達に必要なかかわりについて一緒に考えましょう。



参加者1名につき、1台の端末で右のQRコードからお申し込みください。

定員は200名です。日頃の子どもとのかかわりを見つめ直す機会にしませんか？

先着順となりますので、お早めに！

【問合せ先】教育相談部（Tel 028-665-7211）



# 作品を募集しています

## 第66回 日本学生科学賞栃木県大会

日本学生科学賞は、中・高生を対象とする科学コンクールです。国内では最も長い歴史と伝統を誇り、今回で66回目を迎えます。

これまでに本県から出品された作品の中には、最高賞である内閣総理大臣賞をはじめ、入賞・入選の栄誉に輝いた作品が多数あります。昨年度は、矢板市立片岡中学校の「ジュエリーコーンのひみつ」と県立宇都宮東高等学校附属中学校の「どうして井戸の水は飲めるのか」が中央審査において入選2等を受賞しました。

出品できる作品は、個人研究、または同じ学校の生徒による共同研究で、物理・化学・生物・地学・広領域のいずれかの領域における科学的な研究です。身の回りにある小さな疑問や、教科書に書かれている学説に対する疑問からスタートした研究など、生徒たちの探究心あふれる作品をお待ちしております。

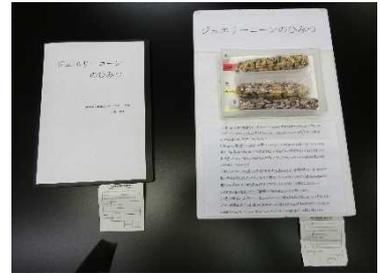
**\* 募集期間：令和4（2022）年9月6日（火）～13日（火）**

**\* 搬入先：栃木県総合教育センター**

出品方法の詳細については、以下のWebサイトで実施要項を御覧ください。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/r04-kagakusho/>

【問合せ先】研究調査部（TEL 028-665-7204）



「ジュエリーコーンのひみつ」



「どうして井戸の水は飲めるのか」



## 第72回 栃木県児童生徒発明工夫展覧会

本展覧会は、創作の喜びや発明工夫の楽しさを味わうことを通じて、児童生徒の豊かな観察力と想像力を育成することを目的として、毎年実施しています。昨年度は、本県で金賞を受賞した作品が「全日本学生児童発明くふう展」において、発明協会会長賞を受賞するなど、合計7点が入賞しました。

「発明」と聞くと難しく感じる方が多いかもしれませんが、手作りのゲームなど、自分なりの工夫をした児童生徒の作品であれば出品できます。身の回りの諸問題を解決するアイデア作品など、「あったらいいな」と思うものを作品にしてください。

昨年度の金賞作品については、以下のWebサイトを御覧ください。日々の生活や健康管理に役立つものなど、様々な工夫を凝らした作品が掲載されています。この夏、きらりと光るアイデアを形にしてみませんか。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/r03-hatsumei/kinsyo.htm>

**\* 募集期間：令和4（2021）年8月26日（金）～9月9日（金）**

**\* 搬入先・展覧会会場：栃木県産業技術センター**

出品方法の詳細については、以下のWebサイトで募集要項を御覧ください。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/r04-hatsumei/>

【問合せ先】研究調査部（TEL 028-665-7204）

